

新しい福祉サービス車両をご活用下さい！！

これまでの福祉サービス車は平成 16 年に町民の方よりご寄贈いただいておりますが、老朽化による故障に伴い経費が増したことにより、新しい車両を整備いたしました。

この車両の購入費として、皆様からお預かりしたご寄付や香典返し等の浄財の一部と南小国町からの補助金を活用させていただきました。

この車両は『**車椅子のまま乗車**』ができますので、ご家族様が病院等の送迎時に使用することも出来ますので、ぜひご活用ください！

なお、この車両のご利用方法等については、南小国町社会福祉協議会までお気軽にお問合せください。

◇お問合せ・連絡先◇

南小国町社会福祉協議会

地域福祉センターりんどう荘内

TEL：42-1501

携帯電話：090-4517-5820



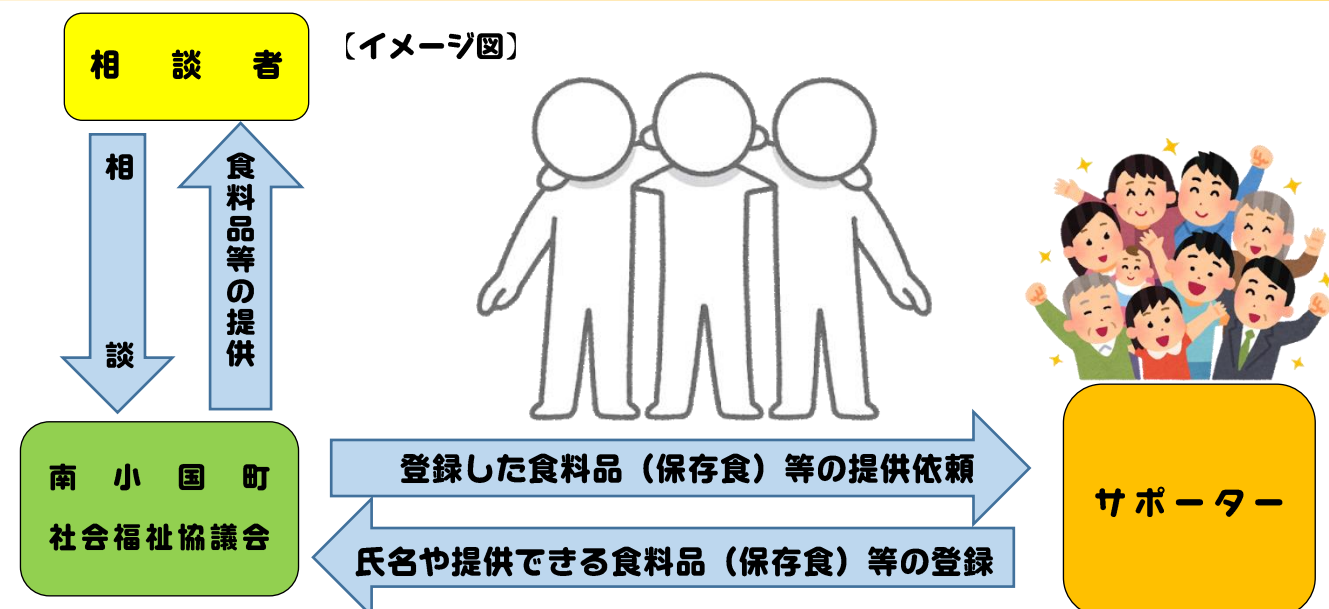
コロナ禍による生活困窮に伴う食料品等のご寄付のお願いと支援について



南小国町社会福祉協議会では、コロナ禍により以前より生活が苦しくなり困窮されている方に対して食料品等の支援を考えております。そこで町民の方々に食料品（保存食）等を提供できる方の氏名や、提供できる品物等をサポーターとして登録させていただき、相談者から依頼があった際にサポーターの方に連絡を入れ、提供していただいた食料品等をお渡ししたいと思っておりますので、ご興味のある方はぜひ南小国町**社会福祉協議会**までご連絡をお願いいたします。

また、食料品（保存食）等の支援が必要な方もご相談ください。

*なお、社協では、生鮮食品等を長期保存することが出来ませんので、自宅保存や保存のきく食品の提供についてご理解とご協力をお願いいたします。



社協便り 令和3年2月号
～もやいで つなぐ 福祉の輪～

編集・発行：南小国町**社会福祉協議会**
お問い合わせ先：0967-42-1501

地域交流を芋ほりで！！

11月5日、市原小学校で町内のボランティアさんたちと一緒に芋ほりを通して、地域交流を行いました。

体育館横の畑に作られたサツマイモはとても大きく育っており、児童たちは、ボランティアの皆さんや先生に手伝ってもらいながら、サツマイモの収穫をしました。

児童たちからは、『**大きいのが取れたー！**』『**これ大きすぎて抜けなーい！**』など、とても賑やかな声が聞かれました。

見事な秋晴れの中で、児童とボランティアの皆さんとの交流が深まりました。暑い中での活動お疲れ様でした。



ボランティアの皆さん（左から）
高村征子さん・橋本トミ子さん
岩本征子さん・佐藤千香子さん



南小国町老人クラブ連合会 見守りパトロール

毎年、9月～10月に市原小学校の一斉下校に合わせて、市原小学校区内の老人クラブ（6クラブ）会員による、見守りパトロールを行っており、今年度もコロナウイルス感染防止に努めながら実施をしました。

横断歩道を渡る際の見守りや、児童たちと一緒に下校しながらの見守りを行うなど、各クラブに合わせた見守り活動を行いました。

活動した会員からは、『**クラブでの恒例行事となり良いことだと思う。**』『**子どもたちの笑顔も良く見られ、挨拶もでき元気な姿をみて、我々が元氣をもらいます！！**』などの感想が聞かれました。

コロナ禍のため、地域で交流する機会も減っている中、見守りパトロールを通じて、会員と児童との交流を深めることができました。



※インフルエンサーとは?
世間に与える影響力が大きい
行動を行う人のこと

【編集】
南小国町社会福祉協議会
小国町社会福祉協議会
小国高校チャレンジ小国 GO
参加生徒 (8名)



吸う責任

世界中で毎年、約6兆個のタバコの吸い殻が発生し、そのうち4兆5000億がポイ捨てされているそうです。タバコの吸い殻は、環境汚染の要因のひとつです。

(Web) : ecotopia、タバコのポイ捨ては環境に大変な影響を与える! 吸い殻による汚染とは、2019.4.22 閲覧日 2020.12.21



小国高校生ボランティア8名と小国高校近くの"けやき広場"周辺と主要道路沿いの歩道およそ2Kmの**ゴミ拾いボランティア**を2日間おこない、拾ってきたゴミを分別して、ゴミの量やどんなゴミが落ちているのかを調査しました。

調査の結果、以下のような結果となり、2回目には、ほとんど落ちてないだろうと予想していたにもかかわらず1回目より多くの量のゴミが落ちていたことに、生徒たちは驚き、自分たちに実際何ができるのかを考えさせられる活動となりました。

1回目 (令和2年10月29日)

ゴミ総量 **約6.4Kg**

ーゴミの内訳ー

タバコの吸い殻	335本
ペットボトル	4本
マスク	4枚
空き缶	1本
燃えないゴミ	44個

1週間後

同じ場所の
ゴミ拾いを
しました。

2回目 (令和2年11月5日)

ゴミ総量 **約7.0Kg**

ーゴミの内訳ー

タバコの吸い殻	107本
ペットボトル	3本
マスク	2枚
空き缶	4缶
電池	6本
ピン	1本
燃えないゴミ	8個

SDGs (エスディージーズ) とは、国連が定めた『**ずっと住み続けられる町・地域・社会を創り、維持していくための目標**』です。このSDGsの考えに基づいて、生徒たちと一緒に美化活動をおこない、この活動を通して生徒が新たにチャレンジしたいボランティア活動や身近にできることを考えてもらいました。参加した生徒達は、『ポイ捨て』をしたことがなく、自分のゴミはゴミ箱へ捨てることのできる生徒でしたが、制服姿で他人の捨てたゴミを拾うという行為に対しては、周囲の目が気になって実行に移すには勇気がいったようでした。ゴミ拾いを始めてすぐに、多くのタバコの吸い殻やゴミが落ちていることに気がつき、側溝など人目につきにくいところにも沢山落ちていることに気がついたようです。

この活動を通じて、生徒から『**落ちているゴミが目がいくようになります**』『**良いことをするのは、気持ちが良いし楽しいです**』『**ひとりでは、恥ずかしくてできなくても、みんなでやればできる**』などの感想が聞かれ、自分自身が日常生活の中でどのように変わらなければいけないかを考える良い機会となったようです。良いことをしようと思っても、行動を起こすには『**勇気**』がいります。今後も生徒たちが一歩踏み出せるように生徒たちの『**やりたい**』ボランティア・福祉活動を応援していきます。

社会のひとりとして 未来のために 「勇気」をだして「小さな」ことから始めます

2回目のゴミ拾いでゴミの量が増えたのがショックでした。一人ひとりの意識が大切だと改めて思いました。また、美しい自然を守るために自分に何ができるかを考え、みんなに自然を大切にする心を涵養するために、学校に花を植える活動を考えました。近いうちに実現し、校内を花で彩りたいです。 2年 横井岬

私は、ゴミが落ちていても「捨てる人がいるんだな」と見るだけで終わっていたけど、拾ってみると自分が思っていた数倍落ちていて、驚愕しました。海のゴミも問題になっているし、日頃から分別をしっかり行い、マイボトルなどを活用して、ゴミを少しでも減らしていけたらと思います。 1年 眞田琴音

私は、小国高校周辺のゴミ拾いをして、木の陰とか落ち葉に埋もれていたりして拾うだけでもすごく大変でした。また、タバコの吸い殻を並べるだけでも日が暮れると思いました。このボランティアをきっかけに普段より一層ゴミの削減を心がけるように努力しています。 1年 菅原由希

私は、ゴミ拾い活動を2回に渡り行い、2回目の方がゴミの量が多かったことに驚きました。今回、この活動を通して思ったことは、これからの小国郷を創り上げていくのは、私たちなので身の回りの小さなことから始めて持続可能な町づくりに積極的に貢献したいです。 1年 佐藤穂菜美



私が今回のゴミ拾いを通して感じたことは、そんなにゴミは落ちていないと思っていたが、蓋をあけてみると沢山のゴミが捨ててあり、驚き悲しくなりました。ゴミが捨てられないようにゴミ箱を設置するなど小国郷が綺麗になるアイデアを考えていきたいです。 1年 井渚風

「ゴミ拾いってこんなに楽しいんだ!!」という驚きが、一番初めに感じた思いです。ゴミが落ちてくことは悪いことだけど、それよりもゴミ袋がいっぱいになって町が綺麗になっていくことが嬉しくて、そして「ゴミ拾い」という言葉すらない、美しい町にしたいと強く思いました。 1年 下城舞愛

ゴミ拾いをして、一人じゃ周りの目が気になり出来ないだろうけど、みんなでしたら楽しくゴミ拾いが出来たので良かったです。今回の活動とおして、日常で歩いていると道端のゴミが目がいくようになりました。できる限り気づいたゴミは拾っていききたいと思います。 1年 大内瑞葉

ゴミ拾いをして、自分たちの住んでいる町にこんなにゴミが落ちていたのだと実感しました。私たちがゴミ拾いをした場所は、人目も多いところが多かったのに、多くのゴミが落ちていて、人目の少ない場所は、もっとすごいんだろうなと感じました。ゴミに対する意識を変えて、どうやったらゴミが減るのかを考えて実践していきたいです。 1年 林 洸史郎